

この指と一まれ（第11回）

平成30年（2018年）12月19日

大中里保育園 園長 塩川恵美子

新しい年を迎える時期になりました。

この指と一まれもなかなか発信できなくて……。とうとう12月も終わりに近づいて少し焦り気味。

言い訳がましいのですが寄る年波には勝てないのか？作業能力の低下を感じる事です。

せめて今年最後になったけどお話ししておきたいなと思っている事を書いてみます。年末年始のいつも

より長いお休みの間の子どもの生活に何か感じながら過ごしてもらえたら……。

毎日子ども達のそばにいるものとして子ども達の幸せを 子ども達の声を代弁できたらな。

子育てをする時変えてはいけないことや変わってはいけないことそして大切にしたいこと

生活リズムを整えましょう

バランスのいい食事をしていますか？特に朝ごはんって大切です

睡眠の大切さなどの生活習慣

毎日の事でとても大切な基本的なことですがこれがまた結構難しい!!

お仕事があり家事があり子どもの世話があるなかで突発的なこともおきてしまう。

言葉でいうのは簡単なことだけ実践となると厳しい実情に心も体も折れてしまいそうになる事も。

わかります。わかります。でもただ出来ないまでもこれが大事だと知っている事と

そう思う気持ちが大切だと思います。

私たちが関わる0歳から6歳までの間にどれだけ可愛がられたか!!愛されたか!!

この時代は命が生まれ人となる土台の時なのです。とても大切な時です。

だからこそこの時代はとても手間がかかるし 手間をかけなくてはならない時期なのです。

おっぱいをあげる おむつの交換 傍にいて寝かせる 朝は起こす ご飯を作って食べさせる

洋服だって着せたり脱がせたり 園までの送り迎え何から何まで手がかかるのです。

でもこの時代に手間暇をかけた事で心も体も成長します。

愛して 愛して 可愛がって 可愛がってもらったら心が安定します。一緒にやってあげると色々出

来るようになります。手をかけ目をかけ 気持ちをかけた分ちゃんと子ども達はそれを受け取って

います。でもずっとそれが続くわけではないのです。少しづつですが ゆっくりですが

ちゃんと出来る事が増えてもう6歳になると大方の事は自分で出来るようになっていきます。そこになるまでは長いようですがびっくりする位あっという間です。

そうです いつまでも世話をしなければならぬわけではないのです。

だからその間は可愛がって 可愛がって 愛して 愛してあげて下さい。

それは子どもの言いなりになるということではありません。 こどもが好きなようにやっていいとい

うわけではありません。きちんと向き合って 最後まで関わってあげることがかわいがることであり

愛することなのです。

今日はその事だけをお伝えしたかったのです。長いお休み大人の都合だけでなくゆったりした気持ちで子どもと向き合ってもらえたらきっと子ども達は幸せだと思います。

